

# ボランティアスタッフ募集!

～地元中野区での東北復興イベントに参加しましょう!～

## 目的

東日本大震災で被災した青森県、岩手県、宮城県、福島県の継続的な復興支援のため、東北六県の農水産物・工芸品・B級グルメなどの物産販売と観光・文化を発信して、被災地の地域復興を推進することが目的です。また、中野区の東日本大震災復興への取組みや、陸海空自衛隊の復旧・復興活動も紹介します。あわせて、青森市から中野区へ寄贈されたねぶたの展示と運行（予定）を行い、観光PRも行います。



## 概要



開催日	2015年10月24日（土）～25日（日）の2日間		
開催時間	10/24	初日	10時～20時 予定 (ねぶた運行17時30分～18時30分)
	10/25	2日目	10時～17時 予定 (ねぶた運行13時～14時)
会場	A会場 中野サンプラザ1階ホール及び広場 B会場 中野駅北口暫定広場 C会場 中野区役所1階区民ホール及び玄関前広場		
主催	東北復興大祭典実行委員会		
共催	東京青森県人会 ・ 中野区		

## 意義

- (1) 東北物産品・グルメの販売  
地域経済の活性化が東北復興にとって重要で、東北で働く人たちに将来への希望とになります。そのために地域産品を東京の皆さまにより味わって頂くことが売り上げにつながり、復興支援となります。
- (2) 観光アピールによって東北へ来る人たちを増やすこと  
東北の観光活性化が地域経済を豊かにすることに直結します。観光に関する情報提供が震災復興への支援となります。
- (3) 直接的な金銭支援(チャリティ)  
震災以降、世界中から寄付金が集まっていますが、まだ十分とはいえません。直接的なチャリティに参加することも復興支援へとつながります。
- (4) これまでの取り組みを伝えていくこと  
復興支援には継続的な取り組みを伝えていくことも重要です。これまでの中野区の取り組み、自衛隊の取り組みを地域の人びとや学生の皆さまに伝えるお手伝いをさせていただくことによって、過去から未来への継続性を保つことが可能となります。
- (5) このようなイベントの下支え  
イベントでこのようなことを伝えていくためには、下支えとなるゴミの片付けや人の誘導など地道な下支えが必要です。直接的ではないかもしれませんが、このような下支えがイベントの基盤となっています。

# ボランティアの内容

## 1.概要

明治大学学生と帝京平成大学学生の皆さまを中心として、東北復興大祭典で幅広いボランティア活動を積極的に行う

## 2.人数規模

両大学合わせて20名程度を予定

## 3.ボランティア要件

24日25日で予定時間の半分以上参加が可能な方

## 4.運営方法

あらかじめ配置を決めるのではなく、〈お助け隊〉のような形で各プログラムでの活動を応援する。希望者には運営自体にも関わること可能。

## 5.報酬など

なし。食事としておにぎり程度の食事を用意。

## 5.参加プログラム

(当日からの参加のみで可能な活動)

- <1> 自衛隊ブース中野区ブース運営サポート
  - <2> 岩手宮城福島物産ブース運営サポート
  - <3> 会場サービス(案内・ゴミ収集・パンフレット配布)
  - <4> 青森物産ブースサポート
  - <5> ステージ対応(出演者誘導・ステージ補助)
  - <6> 式典受付
  - <7> ねぶた運行(山車運行サポート・周辺誘導など)
  - <8> チャリティ(募金活動)
  - <9> 青森観光ブース
- (事前打ち合わせで参加が必要な活動)
- <10> 全体総括と事務局 ボランティア全体の運営・事前打ち合わせあり

## 6.申込方法

<1> 希望者は以下を記載の上、10月9日(金)までにメールをお願いしたい。

①氏名 ②連絡先(電話番号・メールアドレス)

③参加可能日時(日程と時間帯)

・10月24日(土) 9時~20時

・10月25日(日) 9時~18時

④参加希望プログラム(複数記載ください)

<2> 申込先

葛西孝彦 090-4428-2177 (全般)tksi34@m7.dion.ne.jp

<3>

\* 運営スタッフ希望の方はできる限り早く申し込みください。

\* 応募人数が予定人数を越えた場合には参加できないこともあります。



<お問い合わせ先>

2015「東北復興大祭典 なかの」実行委員会

ボランティア担当

東京青森県人会 葛西孝彦 090-4428-2177 (全般)tksi34@m7.dion.ne.jp

中野区役所 酒井直人 090-4451-7179



1. 明治大学 国際日本学部 4年

初めての体験ですが本当によかったです。私自身心から楽しんだ1日で感謝でした。私自身も全く知らなかった東北の魅力に気づききっかけになりました。

2. 明治大学 国際日本学部 1年

ボランティアの楽しさに感動しました。自分自身が楽しみ、東北のよさを知ること、より有意義なボランティアになることを知りました。

3. 明治大学 文学部 3年

ねぶた運行とチャリティに参加させていただきました。太鼓の迫力に圧倒されました。

4. 明治大学国際日本学部 1年

イベントを運営するのは大変だけど、誰かを楽しませるうえでアーティストの方々を誘導する仕事はなくてはならないものだった。

5. 明治大学国際日本学部1年

階上町の復興と発展に関して教えていただいた話を念頭に置きながら声掛けができました。

6. 明治大学 文学部3年

中野区役所の方の被災地での取り組みを知り、大変勉強になりました。報告されていた方が涙ぐまれているのが印象に残っています。

7. 帝京平成大学 現代ライフ学部 4年

祭典ボランティアをしたことがなかったので疲れましたが、とても楽しかったので、また機会があったら参加したいと思いました。

8. 帝京平成大学 現代ライフ学部 3年

パンフレット配布の時にいろんな人たちと話すことができ楽しかったです。チャリティもあまり経験することがなかったので、いろいろと勉強になりました。